



# 資料

---

---

- 1 計画改定の経緯
- 2 札幌市環境基本計画の改定について（最終答申）
- 3 札幌市環境審議会委員名簿
- 4 札幌市環境審議会部会委員名簿
- 5 市民議論について
- 6 旧計画における主な課題
- 7 札幌市環境基本条例
- 8 環境基準等
- 9 定量目標・環境指標一覧
- 10 図表一覧

# 1 計画改定の経緯

年度	月 日	経 緯	
2002年度	9月～10月	市民を対象に環境意識調査実施（1,000人） 活動団体を対象に環境意識調査実施（611団体） 企業を対象に環境意識調査実施（597社）	
	8月11日	第1回環境保全会議幹事会（環境基本計画の改定について）	
2003年度	8月26日	第1回環境保全会議（環境基本計画の改定について）	
	9月10日	第4次第2回環境審議会（諮問「札幌市環境基本計画の改定について」）	
	9月	市内小学5年生を対象に環境意識調査実施（6,654人） 市内中学2年生を対象に環境意識調査実施（3,305人）	
	10月9日	第4次第3回環境審議会（環境基本計画の改定について）	
	11月6日	第1回環境審議会部会（部会の進め方について、中間素案について）	
	12月2日	第2回環境審議会部会（市民意見の募集について、中間素案について）	
	12月11日	第1回環境保全会議環境基本計画改定専門部会（環境審議会部会中間素案原案について）	
	12月25日	第3回環境審議会部会（市民意見の募集について、中間素案について）	
	1月28日	第4次第4回環境審議会（市民意見の募集について、中間素案について）	
	1月29日～ 5月23日	環境審議会の審議に対する随時意見募集	
	2月18日	第2回環境保全会議環境基本計画改定専門部会（中間案について）	
	3月4日	第4回環境審議会部会（市民意見の募集について、中間案について、改定スケジュール修正案について）	
	3月25日	第2回環境保全会議幹事会（中間案について）	
	3月29日	第4次第5回環境審議会（中間案について、市民意見の募集について、改定スケジュール修正案について）	
	2004年度	4月23日～ 5月23日	中間答申案に対する意見・提案募集
		5月11日	意見交換会（市民・活動団体）
5月15日		意見交換会（高校生）	
5月18日		意見交換会（事業者）	
6月4日		第3回環境保全会議環境基本計画改定専門部会（中間答申案について）	
6月9日		第5回環境審議会部会（中間答申案について）	
6月29日		第4次第6回環境審議会（中間答申案について）	
7月21日		「札幌市環境基本計画の改定について（中間答申）」について環境審議会より市長に答申	
7月27日		第3回環境保全会議幹事会（中間答申について）	
10月5日		第4回環境保全会議環境基本計画改定専門部会（環境基本計画改定案について）	
11月2日		第5回環境保全会議環境基本計画改定専門部会（環境基本計画改定案について）	
11月18日～ 12月17日		計画改定案に対する意見・提案募集	
12月13日		計画改定案についての説明会	
12月15日		第5次第1回環境審議会（環境基本計画改定案について）	
1月14日		第4回環境保全会議幹事会（環境基本計画改定最終答申案について）	
1月26日		第5次第2回環境審議会（環境基本計画改定最終答申案について）	
2月2日		「札幌市環境基本計画の改定について（最終答申）」について環境審議会より市長に答申	
2月25日		市議会環境消防委員会への報告（環境基本計画の改定について）	
3月2日	第2回環境保全会議（環境基本計画改定計画案について）		
3月29日	「世界に誇れる環境の街『環境文化都市さっぽろ』を実現するための計画 札幌市環境基本計画」を公表		

## 2 札幌市環境基本計画の改定について（最終答申）

平成17年(2005年)2月2日
札幌市長 上田文雄 様
札幌市環境審議会 会長 田中信壽
札幌市環境基本計画の改定について（最終答申）
<p>平成15年9月10日付け札幌計第514号をもって請問のあった標記の件について、本審議会は、慎重に審議するとともに、市民等の意見募集及び意見交換会の結果も踏まえ、平成16年7月21日に改定の方向性について中間答申をまとめた。</p> <p>中間答申では、特に、市民・企業・行政の参加と協働による取り組みの必要性に着目し、①札幌がめざす環境都市像の体系的整理と「参加・協働型都市」の追加、②環境保全・創造のための重点施策における基本目標や定量目標の見直しと施策の達成状況を定量的に評価できる環境指標の設定、③計画の進行管理におけるPDCAサイクルの導入と市民・企業・活動団体等の参加による点検・評価の仕組みの構築、④市民・企業・行政の参加と協働により取り組む戦略的施策プログラムの設定、等を求めたところである。</p> <p>今回、札幌市が作成した札幌市環境基本計画改定案について、審議を重ねた結果、概ね妥当な内容であると評価するが、本審議会としての意見を別紙のとおりまとめたので、これらを十分考慮されたい。</p> <p>また、「(仮称)環境基本計画推進会議」を市民・企業・行政の協働による計画推進体制の要として早期に設置するとともに、市のすべての部局の緊密な連携のもと、「戦略的施策プログラム」を計画の牽引役として確実に実施し、「世界に誇れる環境の街さっぽろ」の実現につなげていくことを期待する。</p> <p>なお、今回、改定に当たって、「札幌らしさ」を盛り込むべく議論を重ね、一応、環境都市像のイメージの中で、札幌の気候特性である冬の多雪・寒冷について記述するように修正案を示した。しかし、「札幌ならではの」計画とするには、充分とは言えず、引き続き、環境面での「札幌らしさ」を追求していくことが課題と考える。</p>

(別紙)

札幌市環境基本計画改定案についての意見

- 1 第2章の「札幌がめざす環境都市像」について、市民等により分かりやすく、かつ、施策の具体例を示すため、環境都市像が実現されたイメージなどを次のとおり修正する必要がある。
  - (1)イメージの時期を記述する。
  - (2)環境都市像とそれぞれの都市の実現の関係が明確になるようにする。
  - (3)「環境文化都市」と他の3つの都市像との関連を記述するとともに、積雪寒冷の冬の姿を記述する。
  - (4)「循環型都市」について、雪冷熱やバイオマスなどのエネルギー及び生産に関する記述を追加する。
  - (5)「参加・協働型都市」について、市民が施策の評価に参加している姿を記述する。
- 2 第3章「環境保全・創造のための重点施策」について、第2章での環境都市像の記述と整合を図るとともに、基本目標について、行政の役割が明確となるような記述に修正する必要がある。
- 3 第3章第1節の「地球環境保全のための施策」について、市民等に地球環境問題の最新の状況や施策の内容をより分かりやすく示すため、次のとおり修正する必要がある。
  - (1)「地球温暖化の防止」に関する現状の記述をできるだけ最新のものとするとともに、定量目標や環境指標について、図表を充実するなど分かりやすいものとする。また、施策においては、普及の対象となる機器について適切なものを記述する。
  - (2)「森林機能の保全と育成」に関する施策について、育成施策を追加する。
  - (3)「オゾン層の保護」に関する定量目標と環境指標において、フロンに関する注釈の記述を最新のものとする。
- 4 第3章第2節の「環境保全・創造のための都市づくり施策」について、市民等により分かりやすいものとするため、次のとおり修正する必要がある。
  - (1)「エネルギーを有効に利用する都市の実現」において、環境指標の注釈や解説を充実する。
  - (2)「環境低負荷型の交通網をもつ都市の実現」において、現状に冬の姿を、また、市民の目標に低公害車に関する記述を追加するとともに、定量目標として二酸化炭素削減に関する評価手法の検討について追加する。
  - (3)「廃棄物の少ない都市の実現」において、再資源化の現況等を踏まえ、生ごみに関する現状及び分別収集に関する施策の記述を修正する。
  - (4)「豊かな自然環境に包まれた都市の実現」において、生物多様性に係る現況等を踏まえ、施策の記述を修正する。
- 5 第3章第3節の「環境保全・創造活動の推進施策」について、環境教育・学習活動の現況等を踏まえ、次のとおり修正する必要がある。
  - (1)「環境教育・学習活動の推進」において、市民の目標に生涯学習や社会教育施設に関する記述を追加するとともに、環境教育・学習の場としての例示で統一する。また、環境学習プログラムの情報提供に関する施策を追加する。
  - (2)「市民・企業・活動団体等の環境保全・創造活動の推進」において、施策にまちづくりセンターの活用の記述を追加する。
- 6 第5章第1節の「計画の推進体制」について、エネルギーの有効利用及び環境低負荷型交通網に関するインセンティブ創設を追加する必要がある。
- 7 「戦略的施策プログラム」について、市民等により分かりやすいものとするため、次のとおり修正する必要がある。
  - (1)各戦略的施策プログラムの目的・背景をコンパクトな記述に修正するとともに、位置づけ及び重点施策との関連について明確にする。
  - (2)「自動車に頼らない街にする！」において、定量目標に二酸化炭素排出量削減に関する評価手法の確立を追加する。
  - (3)「エネルギーを大切に使う社会を先導する！」において、行政の取り組みにインセンティブの創設を追加する。
  - (4)「環境教育・学習に街全体で取り組む！」において、定量目標に取り組み状況に関する評価手法の確立を追加するとともに、主体として学校の位置づけを明確にする。
- 8 前項までの意見の具体については、別添修正案のとおりである。これとともに本審議会の審議結果も尊重されたい。

(別添：省略)

### 3 札幌市環境審議会委員名簿（五十音順）

名 前		所 属 等	備 考
1	太田 幸雄	北海道大学大学院工学研究科教授	
2	岡田 一憲	北海道環境生活部環境室環境政策課長	
3	落藤 澄	北海道大学名誉教授	
4	久保田 学	「札幌市環境基本計画」市民参画会議	臨時委員
5	黒田 澄雄	札幌市環境保全協議会	
	塩谷 日出子※		
6	後藤 元一	札幌市立高等専門学校教授	
7	後藤田 昇	北海道環境科学研究センター環境保全部長	
	坂田 康一※	北海道環境科学研究センター環境科学部長	
8	齋藤 和雄	北海道大学名誉教授	
9	坂入 信夫	北海道大学大学院地球環境科学研究科教授	
10	佐々木 克彦	独立行政法人森林総合研究所北海道支所研究調整官	
	北原 英治※		
11	佐藤 馨一	北海道大学大学院工学研究科教授	
12	佐藤 廣紀	北海道運輸局交通環境部環境・安全防災課長	
13	清水 達雄	北海道大学名誉教授	
14	住友 順子	日本野鳥の会札幌支部事務局長	
15	関口 信一郎	北海道開発局開発監理部開発環境課長	
	上田 正昭※		
16	添岡 睦雄	北海道警察本部生活安全部生活経済課長	
	井下 正晴※		
17	染谷 富幸	札幌商工会議所常議員環境問題特別委員会委員長	
18	田中 信壽	北海道大学大学院工学研究科教授	会長
19	堤 綾佳	札幌市環境保全協議会	
	油津 雄夫※		
20	寺島 克之	北海道立地質研究所長	
21	寺林 利郎	日本労働組合総連合会北海道札幌地区連合会副会長	
22	橋本 尚江	北海道大学言語文化部教授	
23	長谷部 正基	北海道大学大学院工学研究科助教授	
24	福士 明	札幌大学法学部教授	副会長
25	藤田 郁男	札幌市環境保全協議会	
	田作 淳※		
26	前川 正一	北海道経済産業局環境資源部環境対策課長	
	藤崎 義則※	北海道経済産業局環境資源グループ環境対策課長	
27	松田 彊	北海道大学北方生物圏フィールド科学センター教授	
28	松藤 敏彦	北海道大学大学院工学研究科助教授	臨時委員
29	丸山 博子	丸山環境教育事務所代表	
30	三島 恭子	社団法人札幌消費者協会	
	南 信子※		

※印は審議期間中（2003年9月～2005年2月）に交替した委員

## 4 札幌市環境審議会部会委員名簿（五十音順）

	名 前	所 属 等	備 考
1	太田 幸雄	北海道大学大学院工学研究科教授	副部長
2	久保田 学	「札幌市環境基本計画」市民参画会議	臨時委員
3	佐藤 馨一	北海道大学大学院工学研究科教授	
4	清水 達雄	北海道大学名誉教授	
5	福士 明	札幌大学法学部教授	部長
6	藤田 郁男	札幌市環境保全協議会	
7	松田 彊	北海道大学北方生物圏フィールド科学センター教授	
8	松藤 敏彦	北海道大学大学院工学研究科助教授	臨時委員
9	丸山 博子	丸山環境教育事務所代表	